

学校での防犯に対する取り組み

地域ぐるみで子どもを守る

柳沢中学校のセーフティ教室

セーフティ教室

セーフティ教室とは、保護者や市民の参加のもと、家庭・学校・地域社会が連携して、

① 非行防止教育
② 犯罪被害防止教育
を推進するために各学校で行っている教育活動です。

本市の市立小・中学校では、本年度すべての学校で実施します。

セーフティ教室は、二部構成で実施し、第一部では、児童・生徒とともに、警察などの関係機関のゲストティーチャーを招き、身の守り方や薬物乱用の怖さなどの「非行・犯罪被害防止学習」を行います。第二部では、保護者や地域住民による、地域巡回の仕方や危険箇所の確認、非行防止、不審者への対応についてなどの「意見交換会」を行います。学習内容や学習活動、外部の人材活用や協議の仕方など、どの学校もそれぞれ工夫を凝らしています。

今回は、5月6日に行った柳沢中学校のセーフティ教室の取組みを紹介します。



向台小学校では万引き防止の指導を行いました

セーフティ教室の実施予定表

学校名	実施日
保谷小学校	9月15日(木)
保谷第一小学校	9月27日(火)
谷戸小学校	2月23日(木)
碧山小学校	11月21日(月)
東小学校	12月16日(金)
上向台小学校	2月8日(水)
本町小学校	10月26日(水)
田無第一中学校	3月23日(木)

2学期以降のセーフティ教室は、上記の学校で実施されます。

児童・生徒が「自分の命は自分で守る」方法を身につけるだけでなく、地域ぐるみで子どもたちの安全を守ることが必要です。近隣の学校のセーフティ教室に、ぜひご参加ください。

「自動車の中から声をかけられたらどうする?」という具体的な場面を設定し、生徒が不審者役、生徒役等の役割分担をし、演技をして、不審者対応の方法について意見を出し合いました。各学級に民生委員の方を招き、心構えや注意する点についてアドバイスをもらい、明日からの生活にすぐに役立つ方法を学ぶことができました。

① パネルディスカッションによる意見交換会
パネラーとして、生徒代表、地域の方、民生委員、防犯協会の方、PTA会長、生活指導主任、校長が舞台に上り、全校生徒の前で、様々な立場から具体的な意見を交換しました。会場からも活発に意見が出され、大いに盛り上がりました。

不審者対応訓練・防犯用品使用法講習会を行いました

6月16日、田無第三中学校において、不審者が学校に侵入したという想定のもと、不審者対応訓練を行いました。市立各小・中学校の生活指導主任を中心に、約50名の教職員が参加し、危機管理意識を高めました。併せて、各校に配備された防犯用品「刺殺(さすまた)・防護用盾・催涙スプレー・ネットランチャー」等の効果的な使用方法についての講習も行いました。



刺殺で不審者を!

不審者に対するときには、相手を挑発せずに言動に十分気をつけること、そして、警察への連絡体制等、日ごろからの備えを意図的・計画的に行うておくことなどの示唆がありました。



ネットランチャーを発射!

① 不審者対応訓練
当日は、各学校の生活指導主任が、不審者役、生徒役、教師役、警察官役等の役割分担をし、実際に刺殺や防護用盾を用いて学校に侵入した不審者を追い詰め、警察の急行を待つという想定に基づいた訓練を行いました。訓練の後、講師の田無警察署生活安全課少年係長から、訓練についての課題と今後の具体的な対応策についてご指導をいただきました。



② 防犯用品使用法講習会
また、ネットランチャーについては、業者の担当者からの効果的な使用法の説明の後、参加した教員による実射訓練を行いました。ネットランチャーは、3メートル四方の強力な素材でできた網が装置から発射されるもので、不審者の体に巻きつき動きを阻む効果があることを確認することができました。

③ 事後の取組み
今後は更に、この訓練に参加した教職員からの伝達講習を各学校で行う予定です。また、各学校で実施されるセーフティ教室等においても、不審者等から児童・生徒の安全を確保するための訓練を行う予定です。

また、ネットランチャーについては、業者の担当者からの効果的な使用法の説明の後、参加した教員による実射訓練を行いました。ネットランチャーは、3メートル四方の強力な素材でできた網が装置から発射されるもので、不審者の体に巻きつき動きを阻む効果があることを確認することができました。

研究指定校・研究奨励校グループ奨励について

教育委員会では、市立学校および教員グループに、当面する教育課題について研究してもらい、その研究成果を参考にし、本市の教育の充実と振興を図っています。今回、本年度この研究に取り組む学校およびグループを紹介いたします。

研究指定校とは

2年間で研究を進め、1年目は「複数学級の公開授業等を通じた報告」を行い、2年目は、本発表として「すべての学級の公開授業等を通じた研究発表会」を行うことにより、研究の成果を市内に広めます。また、研究集録や研究紀要を作成します。

研究奨励校とは

1年間で研究を進め、「複数学級の公開授業等を通じた報告」を年度内に行います。また、その内容について研究集録や研究紀要を作成したり、学校のホームページで公開します。

なお、本年度の研究指定校の発表は、次のとおりです。地域・保護者の皆さんはもとより、市民の皆さんのご支援をお願いいたします。

- ☆柳沢小学校
平成18年1月27日(金)
- ☆東小学校
平成17年11月22日(火)



研究指定校・研究奨励校・奨励グループ

学校名	研究主題	研究内容
研究指定校		
柳沢小学校	確かな学力の向上を目指す指導の工夫(2年目)	算数少人数指導
東小学校	子どもにとって「わかる」「楽しい」授業を目指して(2年目)	算 数
向台小学校	命の大切さを学び、命を輝かせる子どもの育成	道 徳
中原小学校	児童一人一人のニーズに応じた指導・助言のあり方 ～つくし学級交流教育の深化を通して～	特別支援教育
研究奨励校		
田無第三中学校	基礎・基本的な内容を確実に身につけ、意欲的に学ぶ態度を育てるための授業	教科・領域
谷戸小学校	教科学習を通じたコミュニケーション能力の育成	教科・領域
保谷第一小学校	自分の思いや考えを伝え合う力を育てる	話し合う活動
栄小学校	自らの体に興味を持ち、進んで健康や体力の増進に取り組む児童の育成	体育・健康
碧山小学校	国語力を高める指導のあり方	国 語
泉小学校	自らの考えを持って、伝え合うことのできる児童の育成 ～国語科の話す・聞く活動を通して～	国 語
谷戸第二小学校	一人ひとりの考える力をばす指導法の研究 ～算数科の授業を通して～	算 数
奨励グループ		
青嵐中学校	独立の職員室内のイントラネット構築による生徒指導及び校務の効率化	教育の情報化

文部科学省・東京都教育委員会研究指定校

学校名	指定内容
田無小学校	東京都・情報モラル教育モデル推進校
向台小学校	文部科学省・児童生徒の心に響く道徳教育推進事業の指定校
田無第一中学校	東京都・日本の伝統・文化理解教育推進校
泉小学校・田無第一中学校	東京都・児童生徒体力テスト調査協力校
柳沢中学校	東京都・「中学生の職場体験」プレ実施校

◆指導課(内線2633)